

コロナパンデミックが顕在化させた「働くこと」の諸課題は
人口問題にどう影響するか？

コロナ・パンデミックと 人口問題

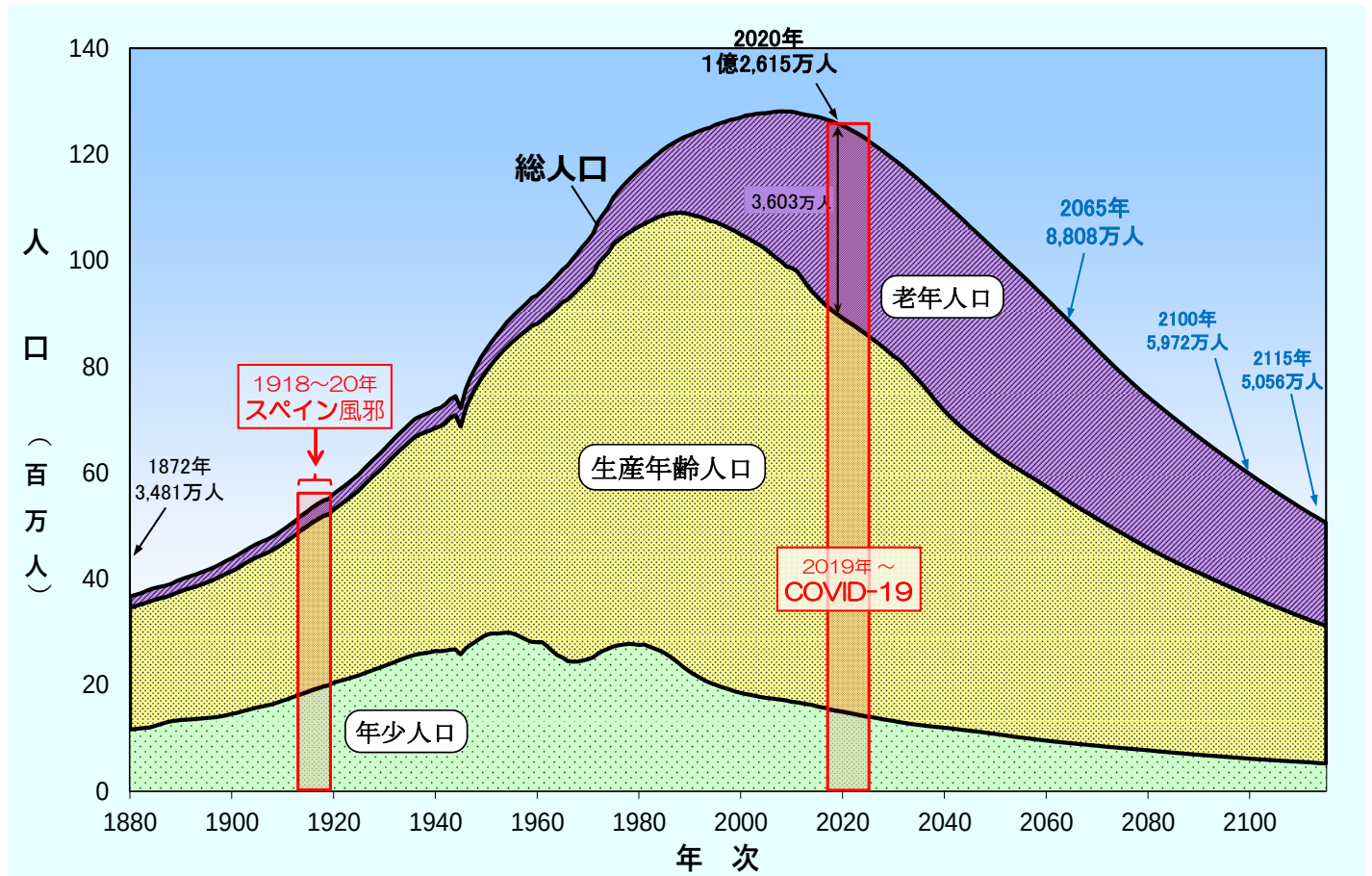
金子 隆一

明治大学 政経学部

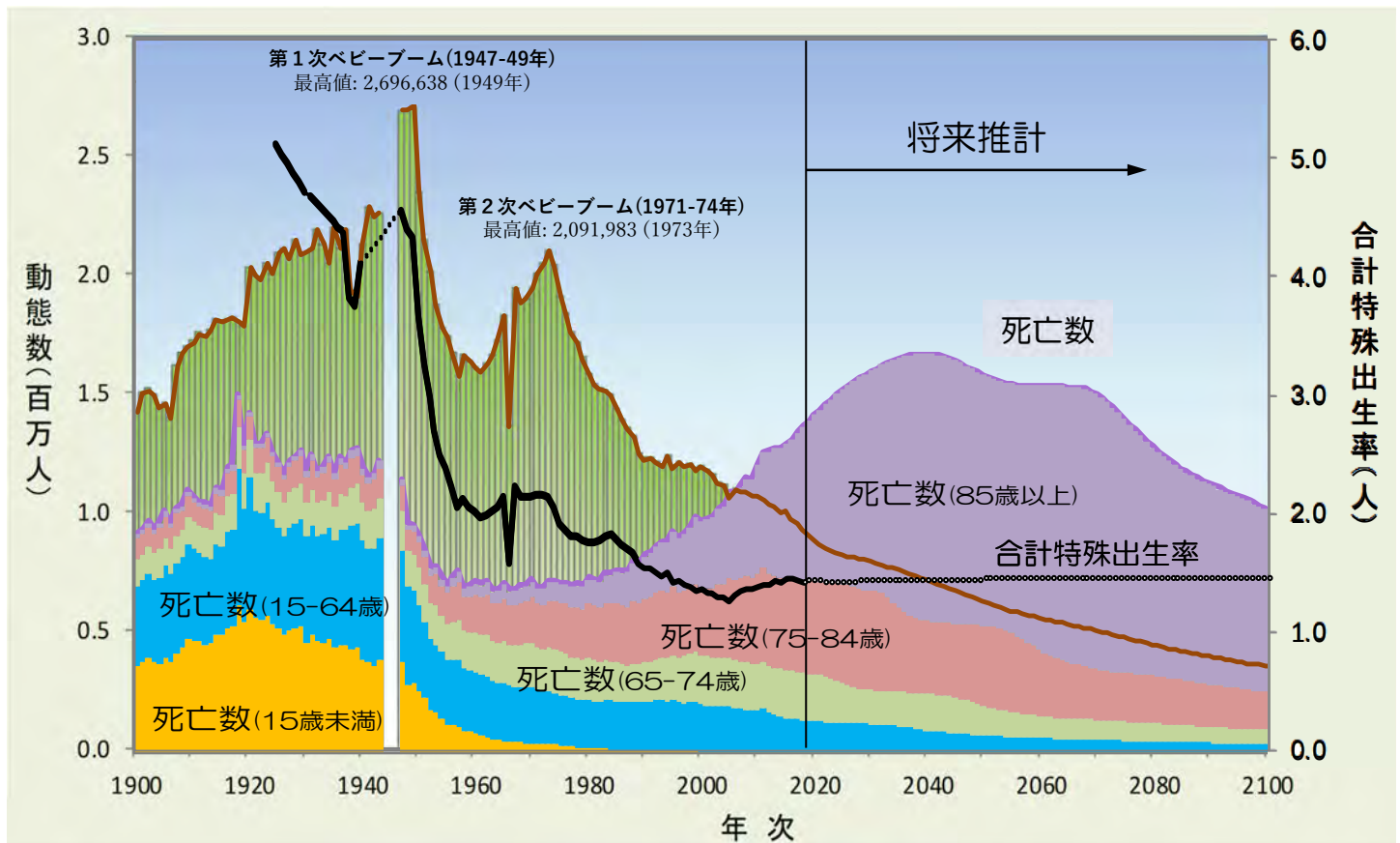


国立社会保障・人口問題研究所
National Institute of Population and Social Security Research

日本の人口と年齢構成の推移：明治期～21世紀～2115年



出生数、死亡数の長期推移（実績＋将来推計）：1900～2100年



注：1900～2018年は厚生労働省「人口動態統計」（客体は日本における日本人の事案）による実績値。2019～2100年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」出生中位・死亡中位推計による同客体における件数の将来推計値。

3

出生・死亡の基礎的動向

(1) 出生率は“安定”でも、少子化が進行

- ・ 今後は構造要因（親世代人口の減少）による少子化が進む。
- ・ 縮小世代がより小さな世代を生む 縮小再生産サイクル が開始された。

少子化スパイラルの開始

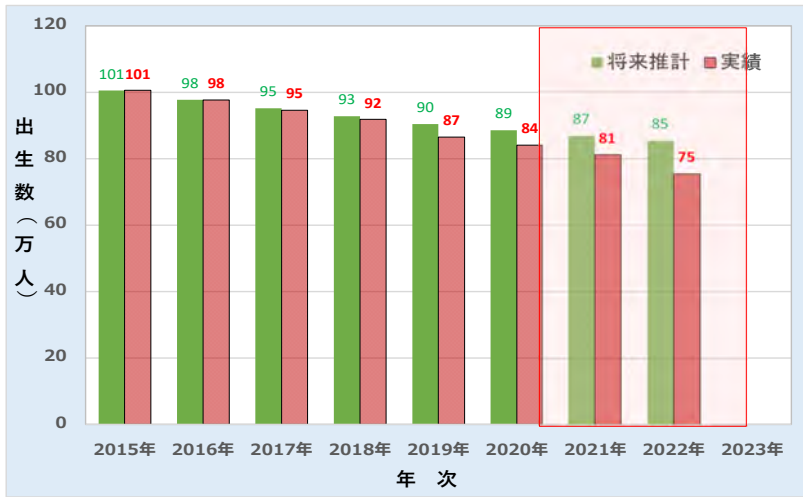
(2) 平均寿命は世界トップでも、多死社会が進展

- ・ 現在、年間死亡数は毎年増加中。2040年前後に160万人台に向けて、今後も急速な増加が続く。
- ・ とりわけ 85歳以上の 超高齢層での死亡数増加 が著しく、2040年前後には 2010年の 約 2.4倍となる。

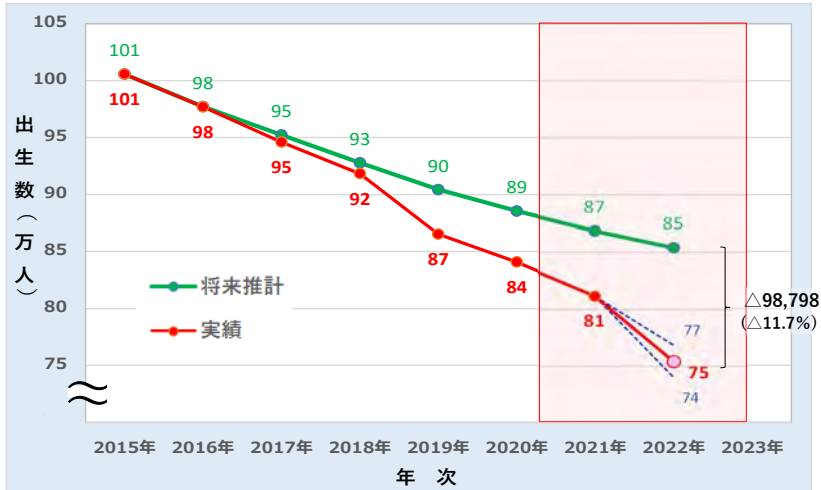
終末期介護・医療の需要が急増

出生数の将来推計値と実績の比較

出生数の見通しと実績の比較 2015～2022年



乖離の拡大図



注：実績値：厚生労働省「人口動態統計」（客体は日本における日本人の事案）による。

将来推計値：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」出生中位・死亡中位推計による同客体における数。

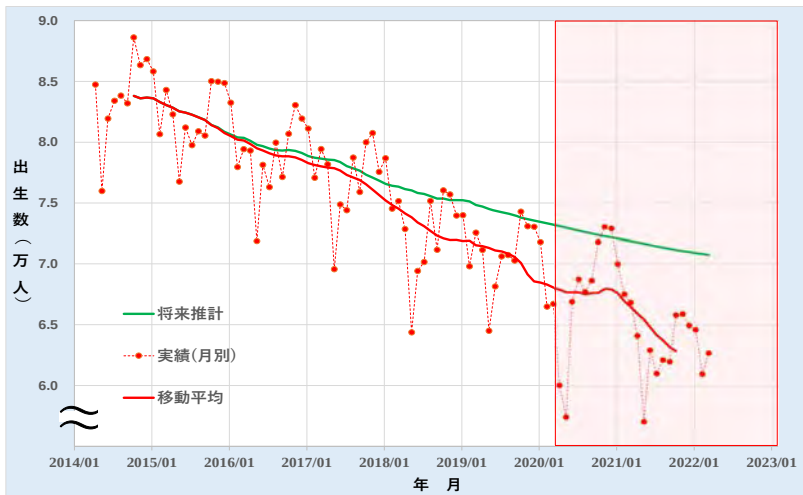
2022(令和4)年出生数は、6月までの速報・概数を用いて年間出生数を推計したもの。

(参考)出生低位推計 2022年出生数：733,296
(「人口動態統計」と同客体における数)

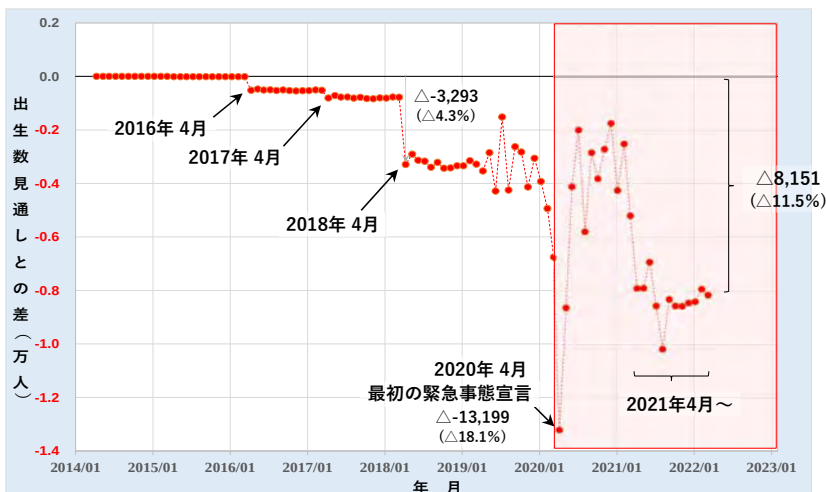
5

出生数の将来推計値と実績の比較：月別推移、妊娠時期にプロット

月別出生数の見通しと実績の比較 妊娠時期にプロット 2014年4月～2022年3月



月別にみた見通しと実績の差



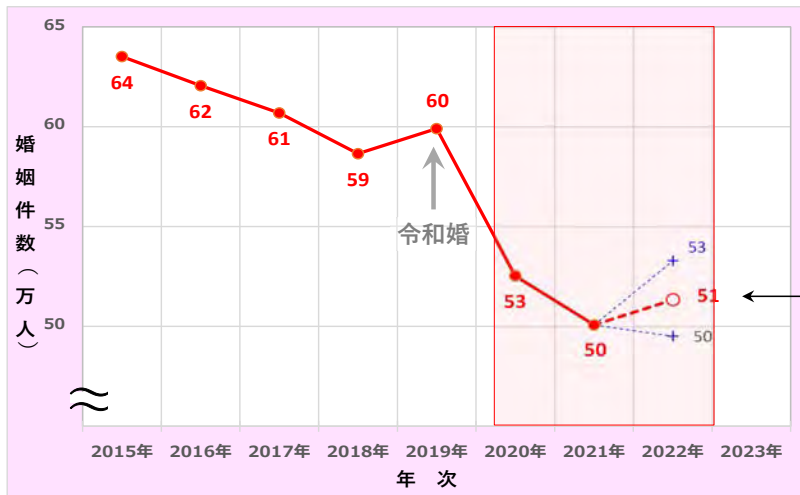
注：実績値：厚生労働省「人口動態統計」（客体は日本における日本人の事案）による。

将来推計値：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」出生中位・死亡中位推計による同客体における年間出生数を月別に再推計。

2022(令和4)年出生数は、6月までの速報・概数を用いて年間出生数を推計したもの。

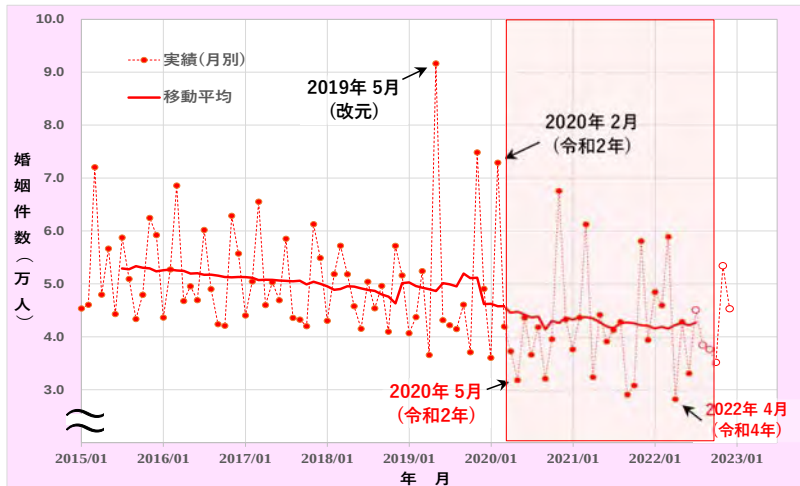
6

年次別、月別にみた婚姻件数の推移



年次別にみた婚姻件数と
今年の見通し
2015～2022年

7月以降 第7波の影響は考慮外



月別にみた婚姻件数の実績と
今年の見通し
2015～2022年

注：実績値：厚生労働省「人口動態統計」（客体は日本における日本人の事案）による。

2022(令和4)年婚姻婚数は、6月までの速報・概数を用いて年間出生数を推計したもの。

7

新型コロナの影響と見通し

（1）出生数・婚姻数

出生数の動向

- ・ コロナ禍以前の2019年から出生数に想定以上に低下が見られた（想定から4%減）。この出生減は、2018年4月以降の妊娠減に対応する。
- ・ 2020年4～5月の緊急事態宣言下において、妊娠数が減った結果、2021年1～2月の出生数が減少した（1月は想定から18%減）。
- ・ その後、緊急事態宣言前の水準に戻ったが、2021年4月以降の妊娠（2022年1月以降の出生）が再び減少した（想定から約10%減の水準）。

婚姻数の動向

- ・ 婚姻数は、2019年5月「令和改元」による高騰の反動と、コロナ禍のが重なり、2020～21年は大きく減少したが、22年前半は底打ちした。
- ・ ただし22年7月以降の第7波の影響が大きければ、再び減少する可能性もある。

8

新型コロナの影響と見通し

— 少子化加速の懸念 —

- コロナ禍による出生数の一時的減少 → リバウンドは限定的
- コロナ禍の中期的影響
 - 結婚・子育て年齢層での失業や低所得化などによる生活困窮、出会い減少など

出生数の減少

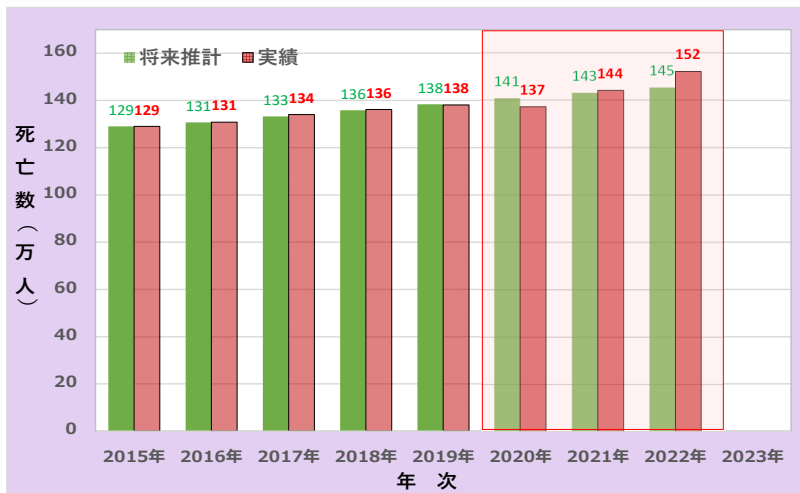
「低出生の罠」と呼ばれるメカニズム

- ・ **出産・子育て関連の市場の縮小**
 - 市場原理による子ども・子育て世代向け製品・サービスの劣化・価格上昇／投資低下
 - 産科・小児科の経営困難、後継減少
- ・ **子育て支援ニーズの量的縮小**
 - 民間企業の子育て支援の弱化
 - 行政における施策・施設予算の削減
- ・ **少子化マインドの広がり**
 - ・ 子どもは持ちにくい／簡単には持たない方がいいという意識

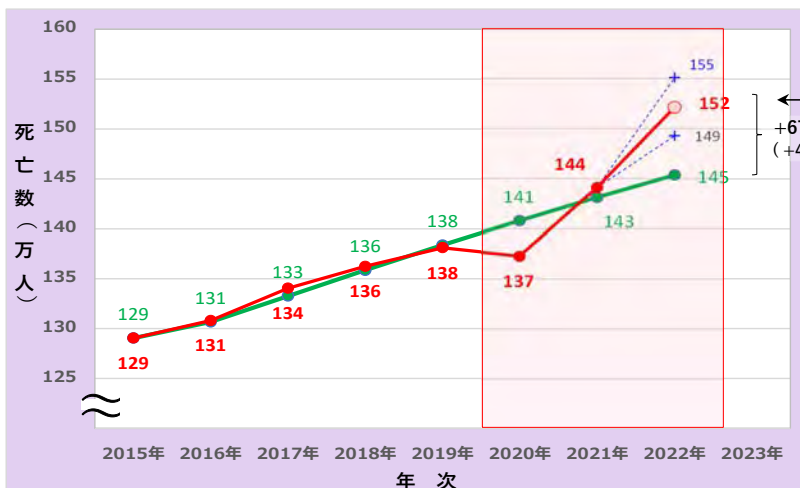
新たな低出生率水準の定着

9

死亡数の将来推計値と実績の比較



死亡数の見通しと実績の比較
2015～2022年



乖離の拡大図

7月以降 第7波の影響は考慮外

+67,933
(+4.7%)

注：実績値：厚生労働省「人口動態統計」（客体は日本における日本人の事案）による。

将来推計値：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」出生中位・死亡中位推計による同客体における数。

2022（令和4）年死亡数は、6月までの速報・概数を用いて年間出生数を推計したもの（推計値：1,521,459）。

（参考）死亡高位推計 2022年死亡数：1,528,189
（「人口動態統計」と同客体における数）

新型コロナの影響と見通し

(2) 死亡数

動 向

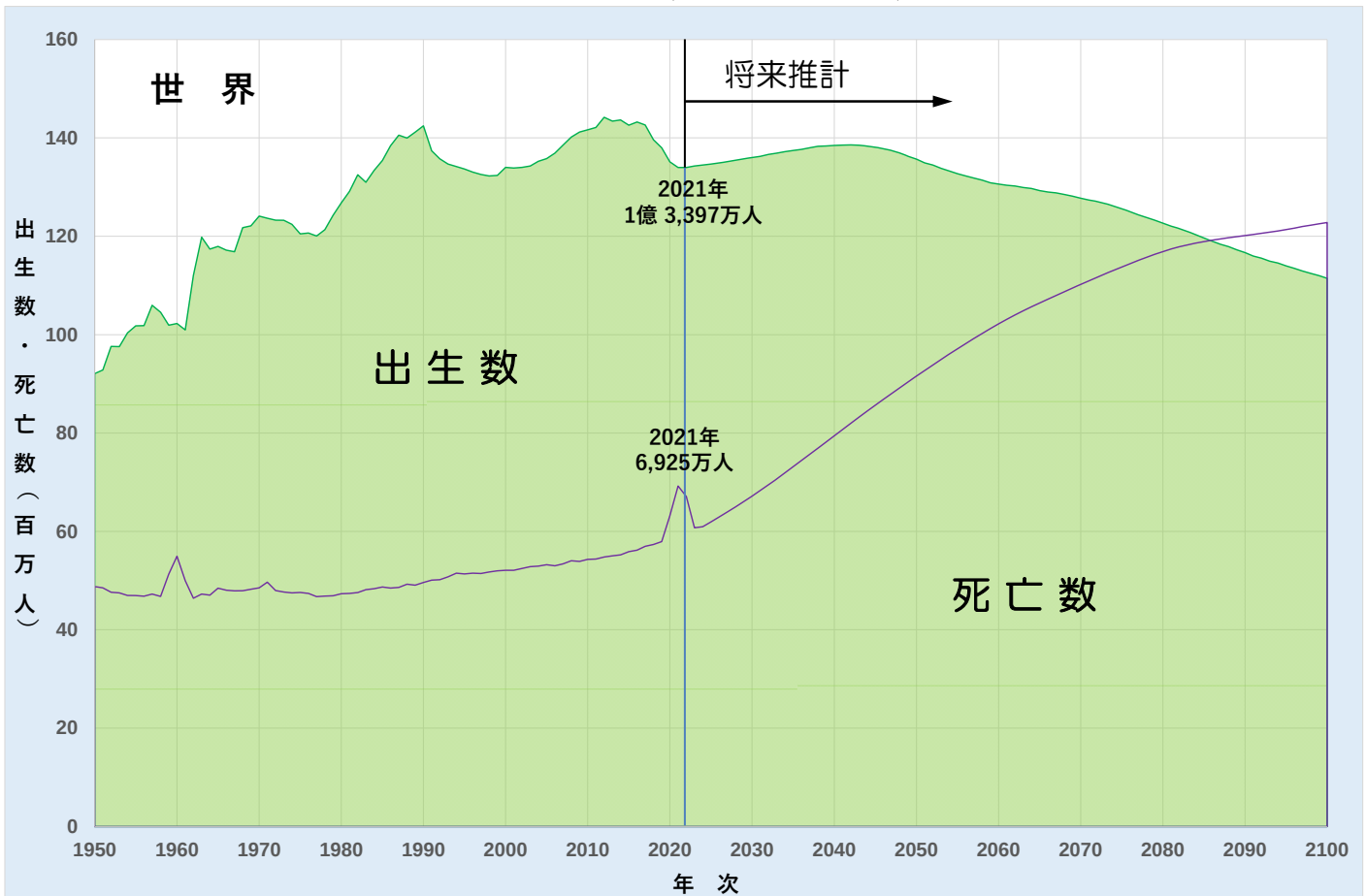
- ・ 新型コロナは、2020年当初においては、感染予防策の展開によりインフルエンザなど他の呼吸器感染症が抑制されたことから、年間の死亡総数を減らす結果となった。
- ・ しかし2021年にはその反動も含めて、従来の多死社会に向かう傾向にもどり、2022年は従来の想定を超えて増加すると見られる。
- ・ 22年前半の傾向では、想定より約68,000人（5％）増が見込まれるが、7月以降の第7波の影響により、それを超える増加となる可能性が高い。

※ 今後、男女、年齢、地域の別などによる詳細な分析を行い、今後の新型コロナ変異株や新たな感染症の発生に対する準備を行うことが重要である。

11

世界の出生数・死亡数の推移：世界も多死社会へ

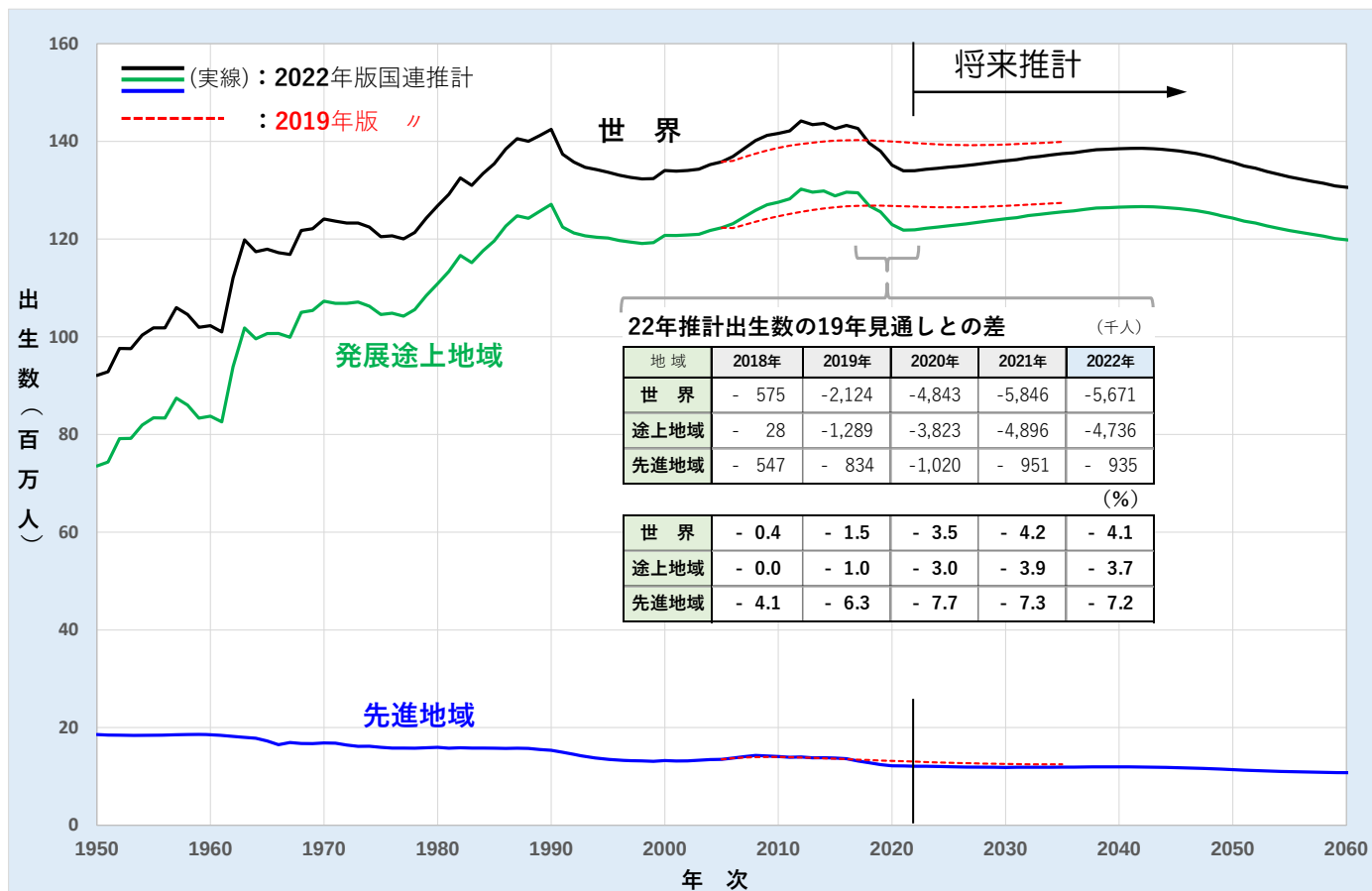
年間出生数・死亡数の長期推移（実績＋将来推計）：1950～2100年



資料：United Nations (2022), World Population Prospects: The 2022 Revision.

世界の出生数の推移：コロナ・パンデミック以前の見通しと、22年推計

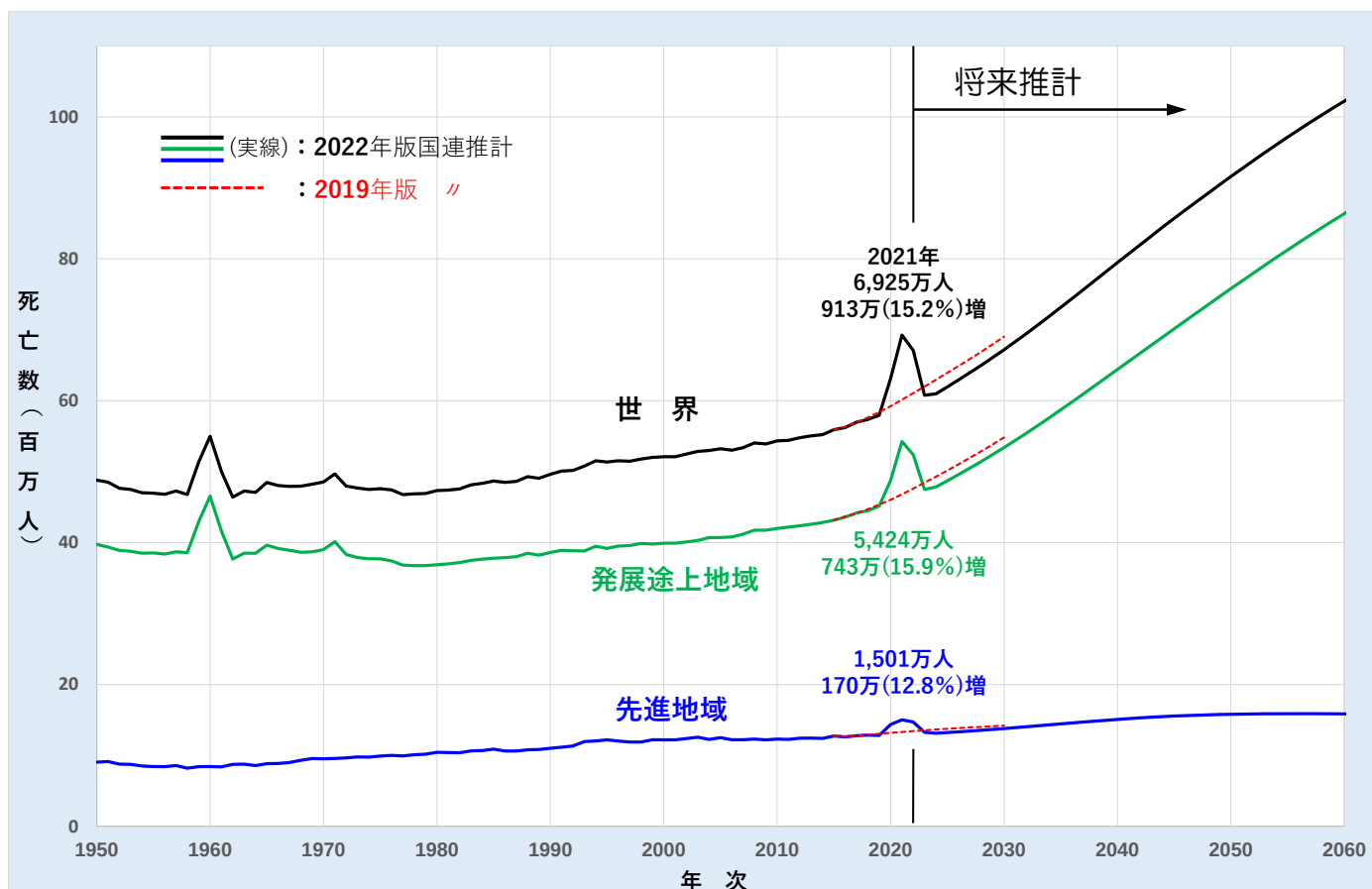
年間出生数の長期推移（実績＋将来推計）：1950～2060年



資料：United Nations (2022), World Population Prospects: The 2022 Revision, および、The 2019 Revision.

世界の死亡数の推移：コロナ・パンデミック以前の見通しと、22年推計

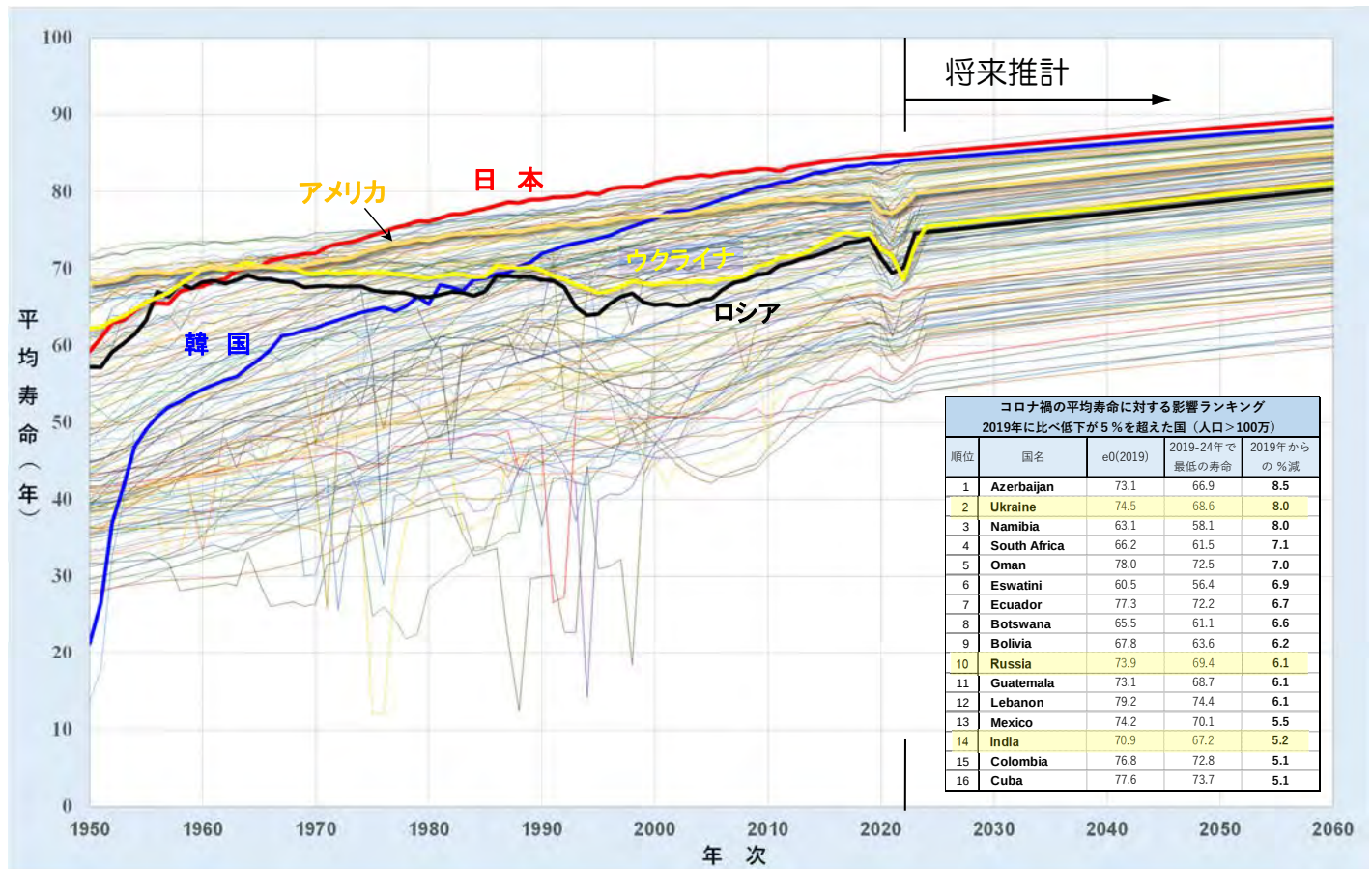
年間死亡数の長期推移（実績＋将来推計）：1950～2060年



資料：United Nations (2022), World Population Prospects: The 2022 Revision, および、The 2019 Revision.

世界の平均寿命の推移：コロナ・パンデミックによる死亡率の一時的高騰

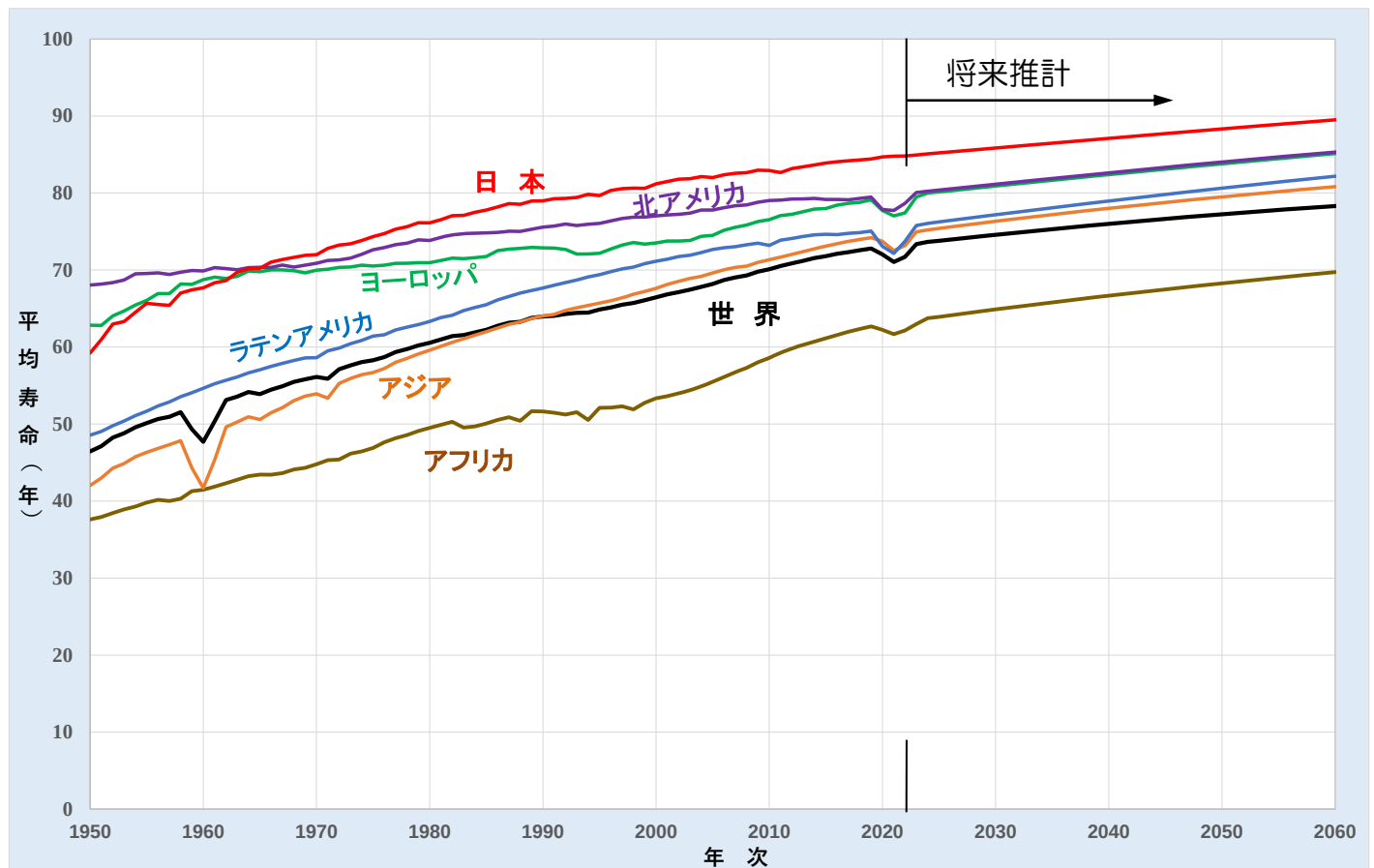
平均寿命（男女総数）の長期推移（実績＋将来推計）：1950～2060年



資料：United Nations (2022), World Population Prospects: The 2022 Revision.

世界の平均寿命の推移：コロナ・パンデミックによる死亡率の一時的高騰

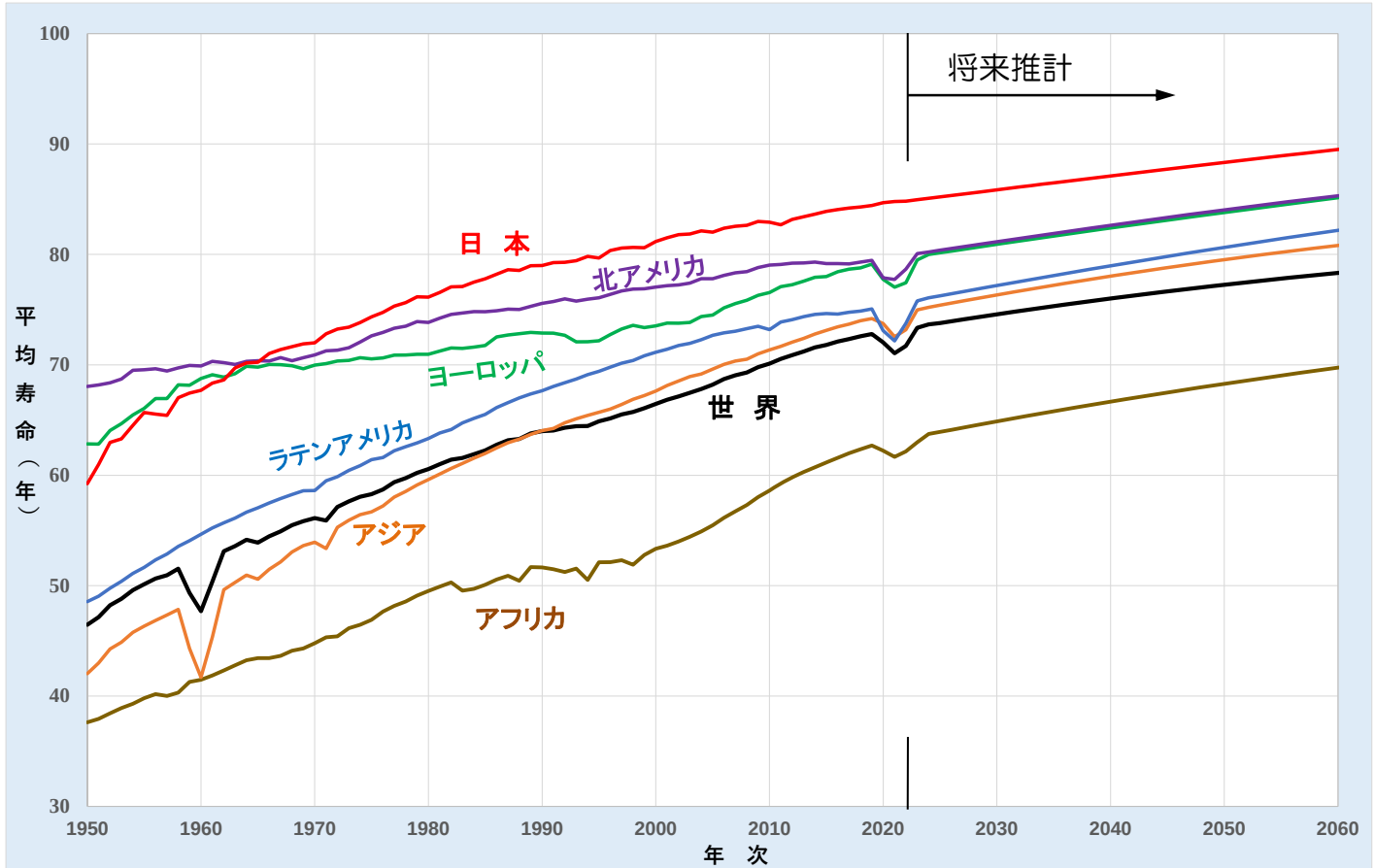
平均寿命（男女総数）の長期推移（実績＋将来推計）：1950～2060年



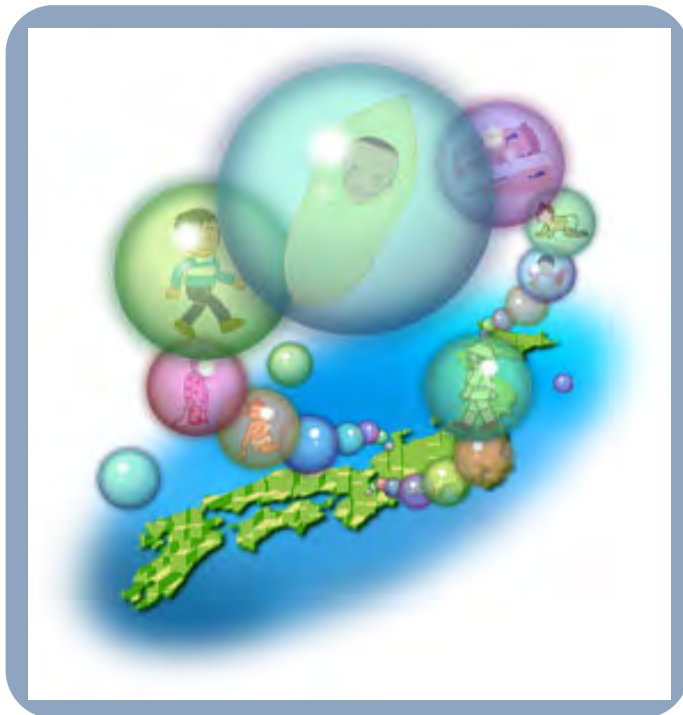
資料：United Nations (2022), World Population Prospects: The 2022 Revision.

世界の平均寿命の推移：コロナ・パンデミックによる死亡率の一時的高騰

平均寿命（男女総数）の長期推移（実績＋将来推計）：1950～2060年



資料：United Nations (2022), World Population Prospects: The 2022 Revision.



日本学会会議主催 学術フォーラム
コロナ禍を共に生きる #8
2022年 9月 2日 (金)

コロナパンデミックが顕在化させた「働くこと」
の諸課題は人口問題にどう影響するか？

コロナ・パンデミックと人口問題

明治大学 政治経済学部
金子隆一